



Q. 分配金「あり」と「なし」、どちらの方が良い？

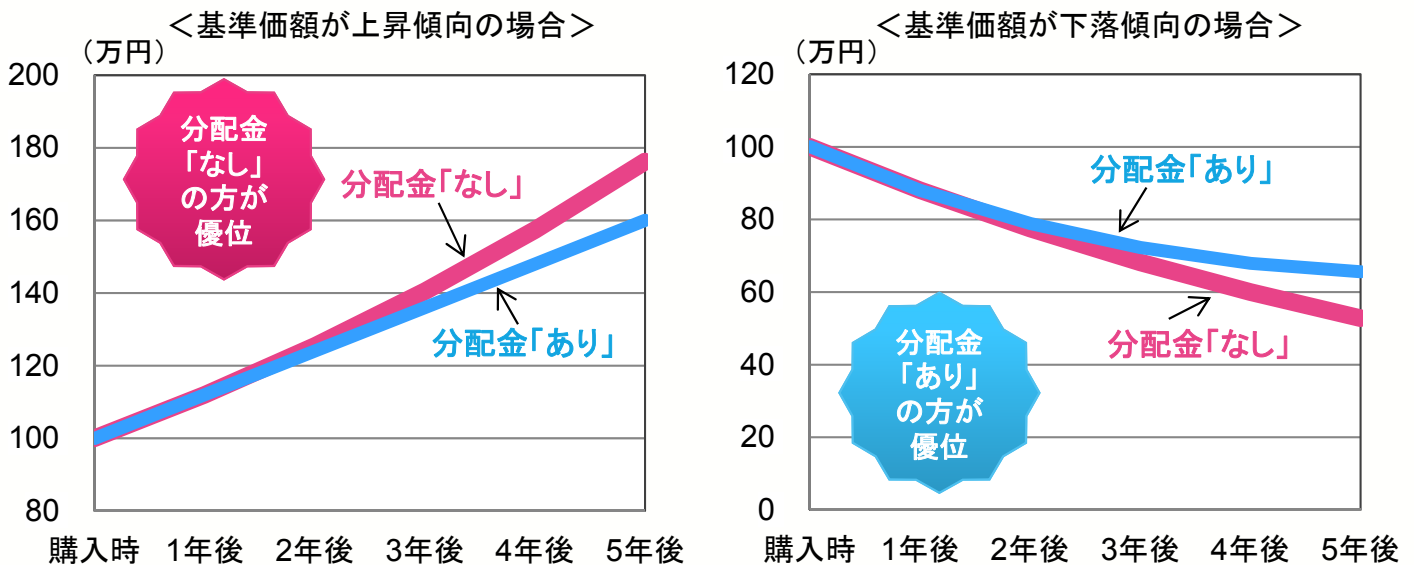
A. どちらの方が良いのか、一概に判断することはできません。ライフスタイルや資産運用の考え方によって選んでいただくことが大切です。

基準価額が上昇傾向の場合なら、分配金「なし」が優位となり、基準価額が下落傾向の場合は、分配金「あり」が優位となります。

月々のお小遣いや年金の足し、旅行費用など『毎月の分配金を生活の楽しみとして使う』ことに重点を置くなら分配金が支払われるファンドを検討してみましょう。じっくり時間をかけて『中長期で運用して値上がり益をとりたい』ということに重点を置くなら分配金が支払われないファンドでの資産運用を検討してみましょう。

分配金「あり」と「なし」の場合の投資成果の違い

【例】投資金額100万円購入。毎月1%値上りしたと仮定した場合（左図）と毎月1%値下りしたと仮定した場合（右図）の分配金「あり」と「なし」のそれぞれの投資成果。分配金「あり」は毎月1万円の分配金が出ると仮定。（税金控除額やその他の費用等は考慮していません）



（注）上記は一定の前提条件に基づきシミュレーションを行ったものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。